

## 第1回 日米コンピュータ会議開催についてのお知らせ

情報化と国際化の声が高い今日、本学会と SJCC (Spring Joint Computer Conference), FJCC (Fall Joint Computer Conference) などの主催に実績をもつ AFIPS との協力によるこの会議は、米国コンピュータ最前線の開拓者と、わが国のコンピュータ技術者、情報科学研究者とが直接ふれあい討論しあう絶好の機会かと信ぜられます。研究発表と討論に日本のチャンピオンとして積極的に参加いただくよう、ここにご案内申し上げます。

なお、学術講演と併行して、コンピュータの進歩と未来像を示す展示会を開催いたします。

1. 名称 第1回日米コンピュータ会議 (1st USA-Japan Computer Conference)
2. 主催 (社) 情報処理学会 (会長・清野 武) および American Federation of Information Processing Societies, Inc. (Keith W. Uncapher, President)
3. 開催日 1972年10月3日～5日 (ただし、展示会は10月3日～7日)
4. 場所 会議場: 日本都市センター (東京都千代田区平河町 2-6)  
展示場: 東京流通センター (モノレール新平和島駅前)
5. 協賛 (社) 電子通信学会, (社) 電気学会, (社) 計測自動制御学会, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 日本ME学会, (社) 日本電子工業振興協会, (社) 日本経営協会
6. 会員資格および参加費

		参 加 費	論 文 集
正 会 員	主催・協賛学会会員	¥21,000 (前納の場合は¥18,000)	当日配布
	上記以外の学会員および一般	¥25,000	同 上
学生会員 (含大学院学生)		¥ 3,000	な し

〔注1〕 学生会員は人数の制限がありますので、必ず仮申し込みをしてください。

〔注2〕 正会員の参加費の前納期限は1972年7月31日です。

7. 予定部会 (Session) 名 各部会は30分～45分の講演を4～6題程度予定 (日米半数ずつ).
  1. History of Computers
  2. Artificial Intelligence and Pattern Recognition
  3. Large Scale Systems
  4. Computer Network and Data Communication
  5. Hardware-Logic, Memories, Peripherals
  6. Architecture
  7. Man-Machine Interaction (Graphics, CAI, etc.)
  8. System Performance and Evaluation
  9. OS and Languages
  10. Industrial Applications
  11. Data Bases and File Organizations
  12. Programming Methodologies
  13. Mathematical Foundation of Information Processing
  14. Health and Medicine
  15. Others

### 8. 参加申し込みおよび連絡先

参加ご希望の方は、至急、20円切手同封のうえ、申込書をご請求ください。

東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 314号 (〒105)

(社) 情報処理学会内 第1回日米コンピュータ会議事務局

電話 (03) 434-8211 (内線 347)

(03) 431-2808 (直通)

同分室 電話 (03) 402-9317

## 昭和47年度関西支部大会

前号でお知らせいたしましたとおり、下記によって関西支部大会を開催いたしますので、ふるってご参加ください。

日時 昭和47年7月7日(金) 9:30~16:30

場所 (財)関西情報センター会議室\*

(大阪市北区玉江町 2-2 大阪国際貿易センター)

大会プログラム

1. システム・ソルビング研究会 (研究発表) (9:30~11:00)
2. 国内外のデータ・ベースについて (講演者 北川敏男九大教授) (11:00~12:30)
3. 情報処理における言語 (世話役 坂井利之京大教授) (13:30~16:30)

\*会場の収容人員は約70名ですので、定員オーバーの場合は聴講をご遠慮いただく場合があります。あらかじめご了承ください。

情報処理学会規格委員会／編

# 電子計算機の国際標準化 ISOの動きとわが国の歩み

電子計算機システムと情報処理技術の普及にともない、その標準化の重要性が国の内外を問わず加速度的に高まっている。本書は、この社会的要望にこたえ、電子計算機と情報処理全般にわたり、ISO(国際標準化機構)の趨勢を軸に、わが国の数年来の調査研究の成果を学問的にまとめ、標準化の今後の動向を指し示すものである。なお本書は、ISO/TC97の数年間の全ドキュメント約3,000件を約500頁に圧縮した貴重な資料である。

第1編 情報処理用語の現状とその問題点／第2編 符号標準化の経緯：第1章 符号標準化の経緯、第2章 符号の表現と磁気テープラベル、第3章 7単位符号の拡張性、第4章 漢字コード／第3編 MICRとOCR／第4編 INPUT/OUTPUT：第1章 SC4の活動状況、第2章 情報交換用磁気テープ、第3章 カード、第4章 情報交換用紙テープの標準化 第5章 SC4/WG.4の活動状況、

第6章 計測用磁気テープ、第7章 磁気ディスク媒体の標準化について／第5編 プログラミング言語：第1章 ALGOLの規格化、第2章 FORTRANの標準化とJIS FORTRANの特徴、第3章 COBOL／第6編 データ伝送／第7編 流れ図記号の標準化／第8編 数値制御における標準／第9編 データ・コードの標準化と体系化／第10編 電子計算機および情報処理関係の標準化

A5判 534頁 定価3,000円

発行元 ● 社団法人情報処理学会

東京都港区芝公園21号地1の5機械振興会館内 電話 東京(03)431-2808直、434-8211代

販売元 ● 財団法人日本規格協会

東京都港区赤坂4-1-24 電話 東京(03)583-8001/振替 東京195146/取引銀行 住友銀座支店